

## 大久保市長

令和8年度の初めての記者会見です。

諫早市ではこれまで、年4回定例市議会のたびに提出する議案も含めた説明ということで記者会見をしていましたが、今年度からは原則毎月定例記者会見をさせていただこうと思います。

今回はすくすく広場でやります。

私が5年前に市長に就任して、特に市の幹部職員の皆さんにはチャレンジと連携の姿勢を強く訴えてきました。

そういう中でいろんな連携をしながら、チャレンジングな政策提案もされるようになりました。

その結果、市全体のいろんな好循環に流れているという状況も踏まえて、政策の決定プロセスであったり、背景や経緯も含めて情報発信することで、記者や市民の皆さんからのいろんなご意見をも聞きながら、さらにフィードバックをして政策を練り上げていくという、そういう思いがあります。

2つ目は、行政は政策を実行して当たり前というふうに使われているかもしれませんが、市民の皆さんが市の行政がいいことをやっててもご存じなければ、やってないことと等しいのではないかという、結構きつめの発言を市の幹部にしてきて、諫早市として市民にとって必要な政策をこういう形でやるんだということを積極的に情報発信することによって、市民の皆さんとの距離感を縮めたり、あるいは市民の皆さんとの信頼関係をより醸成をしていくという目的もあります。

3つ目に、私自身がこうやって情報発信することで、諫早市役所の中の意識改革が進み、職員の皆さんも今こういうことをやってるんだ、スピード感を持ってやって成果を出すという意識になってもらい、また市民目線の行政を行うことによって信頼関係も醸成されていくのではないかとことです。

今年度からは第3次諫早市総合計画がスタートし、将来都市像として「来てよし、住んでよし、育ててよし！輝く諫早 夢かなうまち」と掲げてますので、市民の皆さんと一緒に歩みながら実現していきたいと思い会見をしました。

今回、会見会場のこの場所、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う施設であるすくすく広場の拡充についてほか、新しい諫早市の取り組み、また、イベント情報などを発信したいと思います。

まず、1番目に拡張したすくすく広場からです。

ちょうど今この場所で記者会見をしています、アエルウエスト1階に整備していた工事が

完了し、いよいよ令和8年5月1日(金)からすくすく広場がらすとして供用開始したいと思います。

すくすく広場がらすでは、何をやるのということですが、新たに言語聴覚士など専門職を配置しましたので、今後は子育てをされている保護者や保育士、幼稚園教諭などを対象に、子どもの発達や関わり方について学ぶ場の提供、子ども発達の相談会などをやっていきたいと思えます。

この左側の壁一面のホワイトボードがありますけども、ここでさまざまな研修を行えるように体制を整えてますので、いろいろご利用していただいて取り組みを進めていただければと思えます。

私の後ろにあるスペースには、小さいお子さん連れの方が、例えば保護者の方がちょっと勉強している間の時間があるときに、この遊具を使って遊んでいただけたらとか工夫をさせていただきます。

壁には諫早にあります西日本サッシ工業様からご寄付をいただきました、そのご厚志でドイツから取り寄せてありますので、ぜひ街中ですから買い物途中の親子連れの皆さんもここに立ち寄って遊んでいただいたりできると思えますので、ご活用していただければと思えます。

発達支援の早期発見・早期支援につなげながら、これからも子育てを市全体で、社会全体でやっていこうという取り組みの一環です。

2つ目に、こどもの居場所づくりということで、これはもうすでに3月18日にインスタグラムを開設しています。

ロゴのアイコンは、眼鏡橋やフルーツバス停など諫早らしいものを特徴に明るい感じで作っています。

このインスタグラムは、昨年、令和7年9月に子育て支援課に配置したこどもの居場所づくりコーディネーターが諫早市内にもそういう居場所の提供がたくさんあり、実際に訪れて集めた最新の情報など積極的に発信できればと思えます。

ぜひこの情報を発信することによって居場所とこどもをつなげ、さらに新たな居場所を広げていくというきっかけになればいいなと思えます。

現在フォロワーは80人くらいです。

一応目標は、5,000人のフォロワーを目指していきたいと思えます。

次に、諫早市妊婦歯科健診の無償化についてです。

今まで妊婦の方の歯科健診は500円負担をいただいていたのですが、令和8年4月からはそ

れを無償化しました。

妊娠期の口の中の健康管理は、これから生まれてくる赤ちゃんのためにも大切です。

妊婦が歯周病に罹患している場合には、低出生体重児や早産のリスクが高くなるという可能性も示唆されています。

そういったリスクを少しでも減らすために、自己負担をなくして、より受診しやすい制度にということで、このようにさせていただきました。

これからも安全安心な出産をサポートするために市としてもしっかりと歯科健診の受診の勧奨や、歯とお口の健康教育にも力を入れていきたいと思えます。

市内にこれだけ歯科医院もありますので、受診していただいて管理をしていただければと思います。

続いて、イベント情報です。

これは諫早市の花ツクシシャクナゲです。

第12回多良岳ツクシシャクナゲ祭りのお知らせです。

この多良山麓は約4,000本のツクシシャクナゲが咲き誇る時季で、期間は4月18日から

5月6日までで、会場はしゃくなげ高原、大渡<sup>おおわたし</sup>という場所です。

4月18日には轟峡<sup>ようりゅう</sup>の楊柳の滝前で山開きとオープニングセレモニーを行います。

期間中、市の花であるツクシシャクナゲの美しさを市民の皆さん楽しんでいただければと思います。

以上、私の方から4月の会見に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

### すくすく広場所長

今回の整備の経過、すくすく広場ぶらすの概略や実施する新規事業についてなどをご説明させていただきます。

妊産婦乳幼児支援の拠点であるすくすく広場は令和2年8月

26日アエルウエストの2階に妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を行う施設として開所しました。

その後、すくすく広場の体制強化、発達支援拡充のための整備を計画したのが令和5年10月になります。

そして、令和7年9月から工事を進め、ここと向こうの事務室側と2区画空いていたので、そ

こちらの方に整備させていただき、今回工事が完成しましたので、令和8年5月1日から研修や交流遊び場スペースを完備したすくすく広場ぷらすとして供用開始します。

もともとすくすく広場では保健師・助産師など多くの専門職が中心となり、こちらに記載しているようなさまざまな事業を行ってきました。

こちらの中の発達支援事業は、今回事業拡充を行いました。

また、整備を1階に行ったことで、それまで市役所とアエルウエストの2階で分かれて事業を行っていましたが、今後はアエルウエストの1階と2階で一体的に支援を行えるようになり、すくすく広場としての機能の強化にもつながっていくと考えています。

次に、黄色い部分がこの場所です。

こちらは研修が行えるようになったり、後ろにありますような遊び場のスペースが加わったということもあって、すくすく広場に新しい機能がぷらすされたということで、区画の名称を利用者の方に親しみやすく利用していただきたいということもあって、すくすく広場ぷらすと命名しました。

こちらの開館時間等は記載している情報となっています。

こちらのすくすく広場ぷらすで実際に実施する事業についての説明です。

言葉や心身の発達の遅れのある子どもたちの早期発見・早期支援のために行っている既存事業です。

実際にこういう事業を行っていましたが、こちらの四角で囲んである事業に関してすくすく広場ぷらすで今後は実施します。

新規事業として令和8年5月以降に新たに実施する発達支援事業です。

子どもとの関わりに悩みを持つ保護者や保育者の先生などが子どもの発達特性を理解し、乳幼児期の健やかな発達を促す関わり方を学ぶ研修をこちらで実施します。

保護者向けにはペアレントプログラム、保育者向けにはケアプログラム、ティーチャートレーニングなど研修を行っていくようになります。

これまで発達に関しての相談窓口が明確化されていなかったこともありますので、今回の整備に伴い、専門職を3名増員を行って体制を整えていますので、相談窓口の強化も図っていきたいと思います。

向かい側の事務室部分で相談を受け、適切な支援につなげていきたいと考えています。

相談体制の連携強化のための共同事業ということで、子どもの発達支援には関係機関との連携が必要不可欠です。

地域の障害支援の中心的な役割を求められている県指定の児童発達支援センター・相談事業所・市の障害福祉課などと一緒にあって、それぞれが持つ機能を活かしながら、子どもの発達相談会を定期的で開催し、連携強化による相談体制の構築を図っていきたいと考えて

令和8年4月8日（水）定例記者会見録  
「すくすく広場の拡充ほか」

います。

以上が簡単でしたが、すくすく広場がらすの説明です。